

特別展 東日本大震災復興祈念

みちのくの観音さま

かんのん
よそ
人に寄り添う みほとけ



福島県立博物館

11月1日(土)～12月14日(日)

●主催 福島県立博物館 東北歴史博物館 (宮城・福島観音プロジェクト実行委員会)
NHK福島放送局

●ご利用案内

開館時間 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日 (ただし11月3日・11月24日は開館)
11月4日(火)、11月25日(火)

特別展 一般・大学生1000円 (800円) 高校生500円 (400円)
観覧料 小・中学生300円 (240円)※()は20名以上の団体料金
※小・中学生、高校生は、ふくしま教育週間(11/1～11/7)に限り、特別展観覧料が無料です

●関連行事

■関連講座「観音さまのふるさと」

- ①11月8日(土)「会津の観音講と安産祈願」 当館学芸員 内山大介
- ②11月11日(火)「東日本大震災と観音さま」 当館学芸員 高橋 充
- ③11月22日(土)「酒田の傘福・会津のカサボコ」 当館学芸員 内山大介
- ④12月11日(木)「東北各地の観音札所めぐり」 当館学芸員 高橋 充

会場：当館視聴覚室

時間：各回とも13:30～14:30

内容：「みちのくの観音さま」展の観音さまが、ふだん祀られている寺や堂、地域の人びとと関わっているようすなどを、スライドで紹介いたします

※終了後、展示解説会を行います 展示解説会には観覧券が必要です

■展示解説会

①11月1日(土)②11月23日(日・祝)③12月14日(日)

会場：当館企画展示室 時間：各回とも13:30～14:30

内容：当館・東北歴史博物館学芸員が解説します ※観覧券が必要です

■連携事業

①会津美里町教育委員会 歴史講座「観音信仰と会津美里町」(第3回)

11月6日(木)10:00～12:00 会場：当館講堂

内容：会津美里町教育委員会歴史講座の第3回学習会として、展示に関する講話を担当学芸員が行います

②東北地方民俗学会合同研究会 日本民俗学会談話会シンポジウム

『めぐり』と民俗信仰

12月6日(土)13:00～16:30 会場：当館講堂

内容：「めぐり」という視点から、東北における民俗信仰の地域性について考えます

●お問い合わせ先

福島県立博物館 ～ Fukushima Museum ～

〒965-0807 会津若松市城東町1-25 (若松城公園内)

TEL 0242(28)6000 FAX 0242(28)5986

ホームページ<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

メールアドレスnetmaster@general-museum.fks.ed.jp

●交通案内

■JR会津若松駅から約3km ■タクシーで約10分

■会津若松駅バスターミナルから

まちなか周遊バス「ハイカラさん」約20分 (三の丸口下車すぐ)

まちなか周遊バス「あかべえ」約30分 (三の丸口下車すぐ)

■磐越自動車道 会津若松ICより約6km (車で約20分)

銅造十一面観音菩薩坐像 都々古別神社

平成26年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業



さまざまな苦しみに悩む人々を救うために現れるとされる観音菩薩。観音は人に寄り添う最も身近なみほとけとして、東北地方でも古くから信仰を集めてきました。そのことをふりかえるために、東北各地の観音像、観音に捧げられた奉納品などとともに観音ゆかりの多彩な文化財を幅広く集めて展示公開いたします。本展が、東北の地に伝えられた貴重な文化財や豊かな精神文化を再発見する場となり、東日本大震災で被災した方々にひと時の安らぎを与え、復興への思いを新たにできる機会になることを願っています。

観音菩薩とは

観音が、どのようなみほとけなのかは「法華経」という經典の「普門品」という部分に詳しく書かれています。国宝「一字蓮台法華経開結共」（福島県会津美里町 龍興寺）を拝観し、苦しむ人びとを救済する観音の物語を思い浮かべてみてください。

観音さまのすがた

像高2mを超える巨大な観音像。存在感と功德の大きさを表しています。小型の金銅仏やまるい鏡面に観音の姿が現れる御正躰（懸仏）は、各地に多数の優品が伝わっています。大きさや形のバラエティーとともに、聖観音、十一面観音、如意輪観音など変化する観音の姿にも注目しながら、多彩な観音像をご覧ください。



①



②

③

④



⑤

⑥

⑦

観音さまに祈る人びと

観音に対する信仰は、僧侶など宗教者にとどまらず、一般庶民にいたるまで、時代とともに広がりを見せてゆきます。東北各地の三十三所巡礼や、御詠歌・講など特色ある信仰のようすを紹介します。また各地の観音堂の奉納品の中から、産育祈願や死者供養など願意が具体的に示された絵馬や吊るし飾りなどを中心に展示します。



⑧



⑨



⑩



⑪

- ① 木造菩薩（観音菩薩）坐像 天台寺（岩手県二戸市）
- ② 木造十一面観音菩薩立像 小沼神社（秋田県大仙市）
- ③ 木造十一面観音菩薩立像 泉龍寺（泉観音堂 福島県南相馬市）
- ④ 木造聖観音菩薩立像 常春寺（宮城県石巻市）
- ⑤ 銅造聖観音菩薩立像 聖福寺（青森県おいらせ町）
- ⑥ 銅造如意輪観音菩薩坐像 金峯神社（山形県鶴岡市）
- ⑦ 銅造聖観音菩薩坐像御正躰 若松寺（山形県天童市）重要文化財
- ⑧ 紙本墨書法用寺縁起絵巻 会津若松市立会津図書館（福島県会津若松市）
- ⑨ 観音礼拝図絵馬 常隆寺（福島県棚倉町）
- ⑩ 庄内三十三所巡礼図絵馬 荒沢寺正善院（山形県鶴岡市）
- ⑪ 観音堂内の傘福 龍沢寺（山形県酒田市）

◆「みちのくの観音さま」巡回展（宮城会場）の情報
会場：東北歴史博物館（宮城県多賀城市） 会期：平成27年1月24日（土）～3月12日（木）